

# 祝 創立75周年

## 第18号



発行所  
 ●聖徳学園高等保育学校同窓会  
 ●聖徳学園短期大学教員養成所同窓会  
 ●聖徳学園短期大学附属実践高等専修学校同窓会  
 ●聖徳大学幼児教育専門学校同窓会

〒108-0073  
 港区三田3丁目4番29号  
 電話03(5476)8811代表

聖徳大学幼児教育専門学校ホームページ  
<http://www.seitoku.jp/ktosu>

### ごあいさつ



理事長  
川並 弘昭

ひじり会の皆様にはご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

聖徳学園は昭和八年(一九三三年)大田区新井宿に聖徳学園家政学院と幼稚園が誕生いたしました。それ以来、七十五年の歳月が流れました。平成二十年十一月二十八日には高円宮妃久子殿下をはじめ塩谷立文部科学省大臣、野田聖子内閣府特命担当大臣をお迎えして帝国ホテルで記念式典がとり行われました。今迄お世話になった方や過去学園に籍をおかれた方々もお招きして一七〇〇人からのお客さまで大盛況でした。創立者、川並香順・孝子両先生も喜んでおられることでしょう。

近年本校には親子二代に恒る入学生が増加しています。去る三月の卒業式にも昭和五十一年度卒業の母親と今年度卒業の学生が壇上で表彰され、大変ほほえましい状況でございました。

皆様方のお嬢様、お孫様方のご入学をご期待しております。世界的経済不況と少子化の影響は学園にとりましても同じでございます。全国津々浦々でご活躍のひじり会の方々のお力添えを頂きたく一人でも多くの入学生のご紹介をお願い致します。最後に皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

### お元気ですか



校長  
川並 光昭

卒業生の皆様今日は、お変わりございませんか。多岐面でご自分の趣味を活かされたり、専門の職場で力を発揮されたりと、学生時代身につけられた技術をご活躍の場で提供されていらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、学園では昨年創立七十五周年を迎え四月二十七日の創立記念日には学園内部の方々と、十一月二十八日には帝国ホテルに於て高円宮妃殿下、野田聖子先生他大勢のお客様のご出席を頂き盛大に式典が開催されました。ひじり会様からのお祝金、生花も頂きより立派な会となりました。有りがとうございました。

そして、専門学校は、開校六十五周年を迎え卒業生も一七〇八八名となり伝統の重みを感じております。親子二代での入学者も増し、そろそろ親子三代の入学者も迎えられるのではないかと楽しみにしているところです。

今、全国的に専門学校の入学者が減少しており本校も例外ではありません。ここ数年入学者数が激減し、毎年ひじり会の入会員数も一〇〇名を切る程少なくなりました。同窓会推薦制度もありますのでぜひご紹介頂き一人でも多くの入学者を迎えられ在校生数が増加し以前の様な賑やかな学校にして頂きたいと思っております。又、お会いしましょう。

### ひじり会会員の皆様へ



会長  
高橋 博子

ひじり会員の皆様お元気でそれぞれの場でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、ひじり会の活動、学園へのご支援にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

今春、三月には新しいひじり会員をお迎えすることが出来ました。役員幹事、あらたな気持ちで充実した同窓会運営が出来ますよう皆々さまのご支援を頂いて参りたいたいと思っております。

昨年学園は七十五周年という輝かしい歴史を刻みました。創立七十五周年「感謝の会」が開催され、ひじり会を代表して参加させて頂きました。学長先生、校長先生を始め、母校の教職員の皆様、在校生、そして卒業生のために教育内容、環境の充実にお力を注いで下さっております。そして学園は「夢色のたすき一〇〇年」の歩みが始まりました。

今年「総会」を七月十一日に開催致します。学長先生をはじめ母校の懐かしい教職員の方々と、そしてひじり会員・幹事との旧交を温め、皆さんが人と人との輪を広げて行きたいと思っております。たのしい会になるものと思えます。どうぞ一人でも多くのご参加をお待ち致しております。

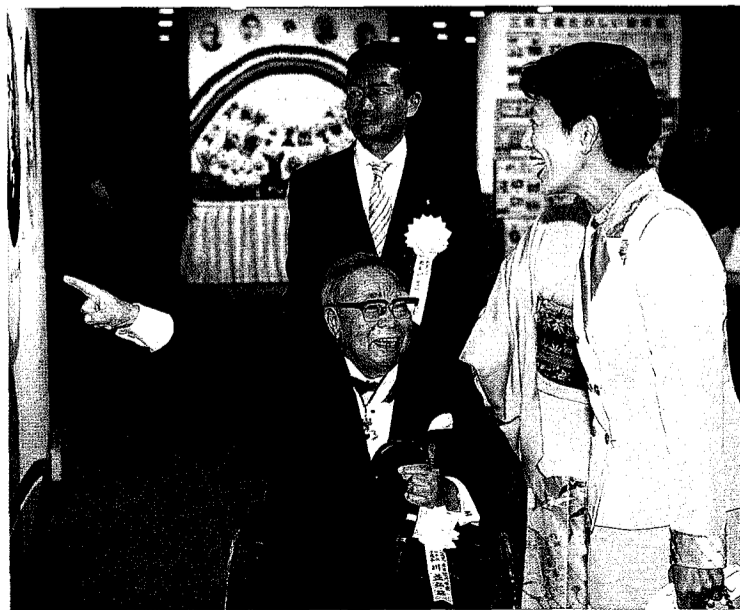
一〇〇年に向かって更なる発展を続ける学園のためにどうぞ皆様の暖かいご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

# 75周年記念 会 開催

平成二十年十一月二十八日(金)、帝国ホテル「孔雀の間」において東京聖徳学園創立七十五周年記念感謝の会が開催されました。

感謝の会には高円宮妃久子殿下、内閣府特命担当大臣野田聖子先生をはじめ一六〇名を超えるご来賓の皆様にご臨席を賜わり、学園の七十五周年に相応しい盛大なかつ和やかな感謝の会となりました。当日は、会場の受付プログラムナードから会場内に至るまで中学生、高校生、大学生および音楽学部の先生方によるウェルカム演奏が華やかな雰囲気をつくりお客様をお迎えいたしました。

国歌斉唱に続いて川並弘昭理事長・学園長先生のご挨拶(別掲)引続き高円宮妃久子殿下より(別



## 感謝の会「あいさつ」



会の冒頭、川並理事長・学園長が式辞を述べた。この中で、建学理念である聖徳太子の「和の精神」を掲げ、とりわけ「幼児と女性の教育」を視座に、一貫して「人間が人間らしく育つ」ことの意味を問い続けてきた点を前置き、この理想をベースに「持続可能な発展を維持するためにも、まず創立の原点に立ち返り、英知と情熱とを結集して、この難局に対処したい」と、時代の大きな変化への対応を進めている点を強調。特に、昨今の教育現場の抱える様々な課題を提起し、これまでの欧米型の限界を指摘、「我が国特有の教育モデルを模索すべき」と強調。その鍵として伝統文化があるとし、本学園が「和の精神」の具現化として、「心の教育を構築する」ことに意を注いできたことは、ある意味で、日本の教育界の試行錯誤に一つの示唆を与えた。本学園は創立以来、一貫して徹底した「人間教育」の実践に心血を注いできた。「幼・小・中・高・大の一貫教育だけが実現できる、本当の人間教育」を実践し、また、改めて第二次大戦の空襲で草創期の学園が灰燼に帰した苦難の歴史を振り返り、その中から「創立者の川並香順先生は、その焦土にあつて『無所得の教え』を語り、まさに『廢墟に蘇る不死鳥』に似て、理想の灯は消えることなく、炎となつて今に引き継がれ」ており、この「学園の創立者が掲げた『理想』が時を超えて生き続けるとき、私たちはその理想を『建学の精神』と呼ぶ。そして、時代の

流れに翻弄されながらも祈りにも等しい信念と情熱は、必ずやそこに学んで巣立った一人ひとりに、消えることのない影響を与えていたはずであり、そのとき初めて、「学び舎が他人の母となるコミュニティ」が「母校」の名に値し、その持続された道程を私たちは「伝統」と呼ぶ」と、理想が「建学の精神」として止揚され、さらに学園の伝統としてしっかりとした礎を築きつつある道のりを振り返った。

さらに「反省すべきは、私たちの授業が、個としての自分を見つめる糧になり得ず、自己発見から自己表現への一歩になり得なかつたことです。最終的には人間の問題に帰着します。それが、ときに制度をも超えるのです。「人間が人間らしく育つこと」を念頭に、生涯を賭けて健闘されることを要望します」として、今後の学園の発展を期するのみならず、広く教育界全体への展望の辞を高らかに謳った。





# 聖徳学園創立 感謝の

掲)のお祝いのお言葉を賜りました。文部科学大臣塩谷先生のご祝辞、学園紹介のビデオ上映、祝電披露と進行し、続いて日本私立大学協会会長文化女子大学理事長・学長大沼淳先生のご発声による乾杯が行われました。そして帝国ホテル中健一郎総料理長より腕によりをかけてお作りいただいた素晴らしい料理をご説明いただき、会食・歓談に入りました。

あちらこちらでなつかしい方々との再会、学園長先生との歓談で一気に花が咲いたように楽しい和やかな雰囲気会場が包まれました。最後に松島副学長先生よりご臨席の皆様にお礼のごあいさつがあり閉会となりました。



高円宮妃久子殿下  
お言葉



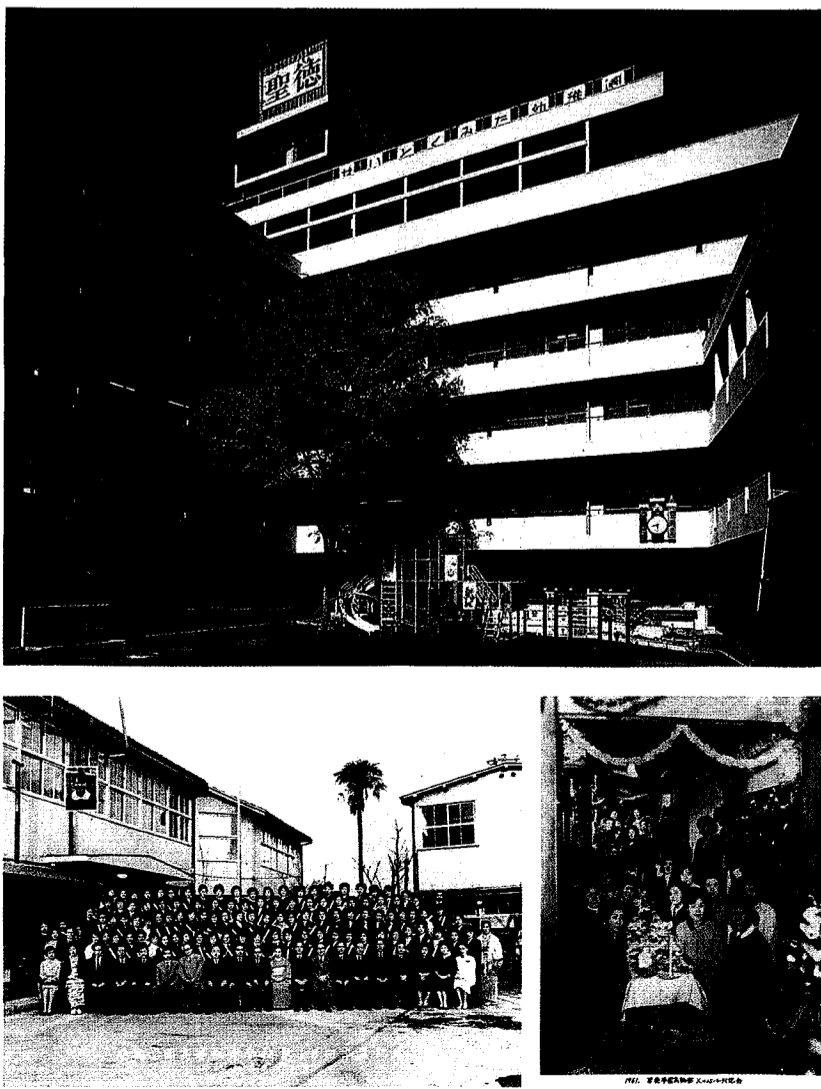
「聖徳学園は創立以来、今日まで聖徳太子の和の精神を建学の精神として掲げ、礼を正し、人に接する心の教育に力を注いでおられます。教育理念がしっかりといていなければ、子どもたちに安定した学びの空間を与えることはできません。その揺るぎない一貫性の教育において、長期的視野からゆとりある教育が行われ、全人格的な教育がされてきたことはとても意味深い」と述べられ、グローバル化した社会で日本人が活躍するためにも、日本女性としてしっかりと根を持つことが将来の立派な枝ぶりにつながるとして、同学園の教育が「末永くそのような日本女性を育成する」ことを折念された。



## 聖徳大学幼児教育専門学校 専門学校65年 そして、明日へ



左側の「聖徳大学幼児教育専門学校 専門学校65年 そして明日へ」の写真は感謝の会の会場に幼稚園〜大学まで各校のPRのパネルでお祝いした際の専門学校出展パネルです。専門学校は今昔を対比し六十五年の歩みをパネルに表現したものです。



# 同窓会のお知らせ

さわやかな初夏の風が吹き抜ける季節となりました。ひじり会の皆様にはお健やかに過ごしてのことと思っております。

さて、今年も三年ぶりに同窓会が開催されます。前回は新高輪プリンスホテルでお逢いました。その折、先生方と語りながら、旧交を温めたり、積もる話に花を咲かせたひとときが思い出されます。

今回は品川プリンスホテルでお逢いいたします。学長先生はじめ専門学校の先生方が出席の予定です。楽しいゲームの準備も進めておりますので、皆様楽しんでいただけるものと思っております。

ぜひ同窓会にご参加いただきたく存じます。今回ご都合のつかない方も、近況をぜひお知らせ下さい。宴たけなわのころ皆さんにご紹介いたします。写真やビデオも大歓迎ですのでどうぞよろしく願います。

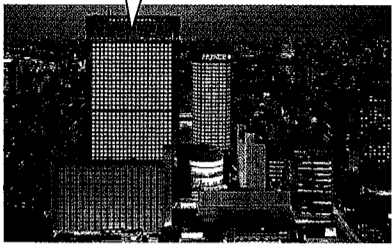
【日時】平成二十一年七月十一日(土)十八時～  
\*十七時三十分より受付開始

【場所】品川プリンスホテル  
メインタワー4階品川大飯店  
東京都港区高輪四一〇一三〇  
☎〇三(三四四〇)一一一一  
アクセス(ＪＲ・京浜急行)品川駅(高輪口)  
徒歩一分

【会費】八〇〇〇円



メインタワー4F



(写真)品川プリンスホテル  
ホームページ

## 平成19年度 決算報告

平成20年3月31日現在

収入の部			支出の部		
科目	金額	科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	16,841,307	前年度繰越金	18,019,444	行事費	500,000
19年度維持金(143名)	1,144,000	19年度基本金(143名)	286,000	通信費	200,000
利息他	31,371	利息	12,398	印刷費	100,000
合計	18,016,678	合計	18,317,842	会議費	300,000

科目	予算	決算	内容
行事費	500,000	149,550	新入生お菓子、卒業記念品
通信費	200,000	14,777	はがき、切手 他
印刷費	100,000	0	
会議費	300,000	147,791	幹事会
慶弔費	200,000	37,822	学園お祝 他
事務費	50,000	0	紙
同窓会連合会費	150,000	143,000	同窓会連合会費
備品費	50,000	0	
予備費	16,985,307	0	
合計	18,535,307	492,940	

科目	収入	支出	繰り越し
金額	18,016,678	492,940	17,523,738

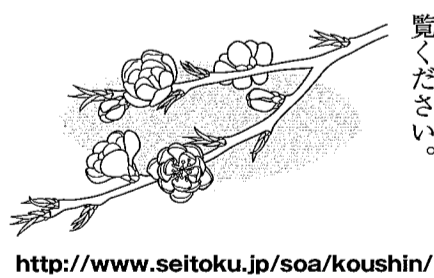
## 平成18年度 決算報告

平成19年3月31日現在

収入の部			支出の部		
科目	金額	科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	17,520,352	前年度繰越金	17,711,813	行事費	1,000,000
18年度維持金(152名)	1,216,000	18年度基本金(152名)	304,000	通信費	1,000,000
利息、総会費 他	538,949	利息	3,631	印刷費	500,000
合計	19,275,301	合計	18,019,444	会議費	300,000

科目	予算	決算	内容
行事費	1,000,000	1,243,573	総会 新入生お菓子、卒業記念品
通信費	1,000,000	563,320	はがき、切手、ひじり発送 他
印刷費	500,000	270,690	ひじり、総会返信はがき
会議費	300,000	164,683	幹事会
慶弔費	300,000	15,750	学園お祝 他
事務費	50,000	5,978	紙、ノート代、 他
同窓会連合会費	200,000	170,000	同窓会連合会費
備品費	50,000	0	
予備費	15,480,352	0	
合計	18,880,352	2,433,994	

科目	収入	支出	繰り越し
金額	19,275,301	2,433,994	16,841,307



<http://www.seitoku.jp/soa/koushin/>

平成二十一年四月から教員免許更新制がスタートしましたが、平成二十一年三月までに授与された教員免許状には有効期間は設定されません。そのかわりに、四月以降、国公私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭として勤務する方には修了確認期限が設定され、それまでの間に三十時間以上の免許状更新講習を受講・修了する義務が課されました。自分の最初の修了確認期限(年齢によって異なります)の確認、免許状更新講習の受講のしかたなどは文部科学省のホームページをご覧ください。

### 教員免許更新制がスタートしました

## 編集後記

今回のひじり会会報「ひじり」は、学園創立七十五周年記念式典を中心に編集してお届けいたしました。「聖徳大学幼児教育専門学校の歩み」をごらんになりながら学生時代を懐かしく思い出していただければ幸いです。さて、ひじり会では親子二代にわたって聖徳大学幼児教育専門学校の卒業された方を「ひじり会特別表彰」として卒業式で表彰いたします。二十年度卒業生は「組いらっしやいました。おめでとうございました。」

最後にひじり会のホームページをご紹介します。さまざまな案内のほか卒業生の就職支援や悩みの相談コーナー、

## 寄付について

平成二十年度には東京聖徳学園は創立七十五周年を祝いました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。

お問い合わせ先

「東京聖徳学園 創立七十五周年記念事業」  
募金係  
〒271-1855  
千葉県松戸市岩瀬五五〇  
【電話】  
〇四七-三六五-一一一  
〇四七-三六五-一一一  
【FAX】  
〇四七-三六三-一四〇



[http://www.seitoku.jp/ktcsu/dousou\\_jyusho\\_index.html](http://www.seitoku.jp/ktcsu/dousou_jyusho_index.html)